

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2019年度 大学院入学試験問題
経済学研究科
経済学専攻 博士前期課程 <一般入試(秋)>
筆記試験

(注意) 解答は別紙解答用紙を使用のこと

ミクロ経済学 ・ **マクロ経済学** ・ 計量経済学 ・ 経済史

1 GDP 統計

- (1) GDP 統計は、経済活動によって生み出される価値を市場価格を利用して測定するものである。ただし、単純に全ての市場取引額を合計すると過大評価になってしまうと考えられる。これは何故か、理由を二つ挙げて説明せよ。
- (2) 支出額としての GDP の数値を Y とすると、支出用途によって消費 C 、投資 I 、政府購入 G 、純輸出 NX の4つの項目に分類することで、以下の 国民所得勘定の恒等式 が成立する。

$$Y = C + I + G + NX$$

以下の意見の当否を論じよ。

- (a) 仮想通貨をはじめとする新しい金融資産への投資の増加は、 I の増加を通じて GDP を増やす。
- (b) 政府による社会保障や福祉関連の支出は増える一方なので、 G の増加を通じて GDP を増やす。
- (c) “国産品ブーム”によって輸入消費財から国産消費財への需要シフトが起こっても、消費総額 C が一定なら GDP への影響はない。

2 モデル分析

以下の労働市場のモデルを考える。

- 失業者数 U 、就業者数 E 、労働力 $L = U + E$ 。労働力は一定とする。
- 一定期間の間に、失業者の内の f の比率が就職する一方、就業者の内の s の比率が離職する。

$0 < f < 1$ 、 $0 < s < 1$ であることに注意して、以下の問いに答えよ。

- (1) 失業率が変化しない定常状態において、失業率を f と s の関数として求めよ。
- (2) 定常状態における失業率を低下させるための政策としてどのようなものが考えられるか、例を挙げて説明せよ。
- (3) このモデルを使って分析できない、失業率に関連する問題を一つ挙げよ。なぜ分析できないのか、分析するためにはモデルをどのように拡張するべきかを説明すること。

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2019年度 大学院入学試験問題
経済学研究科
経済学専攻 博士前期課程 <一般入試(秋)>
筆記試験

(注意) 解答は別紙解答用紙を使用のこと

ミクロ経済学 ・ マクロ経済学 ・ 計量経済学 ・ 経済史

問1. ある独占企業について、生産量を $x \geq 0$ 、費用関数を $C(x) = x^2 + 1$ とする。
また、この企業が供給する財の価格を $p = 10 - x$ で表す。

- (1) 企業の利潤関数を定義し、最適な生産量を導出しなさい。また、その時の利潤を計算しなさい。
- (2) 限界費用と平均費用が、平均費用を最小とする生産量で一致することをしめしなさい。

問2. 2財の消費量をそれぞれ $x_1, x_2 \geq 0$ とし、これらの価格を p_1, p_2 と表す。また、消費者が持つ所得を M とする。

- (1) 効用関数を $u(x_1, x_2) = x_1^{\frac{1}{3}} x_2^{\frac{2}{3}}$ とするとき、それぞれの財の需要関数と間接効用関数を求めなさい。
- (2) (1)の効用関数を仮定し、補償需要関数と支出関数を求めなさい。
- (3) 間接効用関数を $V(p_1, p_2, M) = \frac{1}{2} p_1^{-\frac{1}{2}} p_2^{-\frac{1}{2}} M$ とするとき、第1財の需要関数と支出関数を求めなさい。

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2019年度 大学院入学試験問題
経済学研究科
経済学専攻 博士前期課程 <一般入試(秋)>
筆記試験

(注意) 解答は別紙解答用紙を使用のこと

ミクロ経済学 ・ マクロ経済学 ・ 計量経済学 ・ **経済史**

以下の2つの設問のうち1つを選び、課題に答えなさい。

- 1、日本史における中世と近世の違いについて、土地制度の視点から論ぜよ。
- 2、戦間期に起きたドイツのインフレーションについて、その実態、原因、結果(解決)を紹介した上で、経済史的意義を論ぜよ。